

3 報告

(2) 厚生文教委員会報告

「小学校の統合について」

委員長 塚本光司

小学校の統合 について

人口減少を見据えた美浦村の教育

美浦村立小・中学校の児童及び生徒数

木原小学校	1 9 2 人
安中小学校	5 6 人
大谷小学校	3 0 5 人
美浦中学校	3 2 3 人

小学校：計 5 5 3 人
(令和4年5月1日現在)



美浦村立小・中学校の概要

		木原小学校	安中小学校	大谷小学校	美浦中学校
施設規模	敷地面積	25,693m ²	34,331m ²	32,217m ²	41,969m ²
	校舎面積	3,897m ²	2,685m ²	5,308m ²	7,101m ²
	屋内運動場床面積	810m ²	751m ²	945m ²	2,355m ²
	普通教室数	10室	8室	18室	13室
建築年		昭和54年度	昭和53年度	昭和52年度	平成20年度
耐震補強整備		平成23年度	平成24年度	平成22年度	—
令和4年	児童・生徒数	192人	56人	305人	323人
	普通学級数	7学級	5学級	12学級	10学級
	特別支援学級数	2学級	2学級	3学級	2学級

美浦村の人口推移

- 昭和50年に約8千人まで減少
- 昭和53年のJRA美浦トレーニングセンター開場で大幅な増加。
- 平成12年にピークを迎え、その後は減少に転じている。
- 現在の人口はピーク時から約20%減少

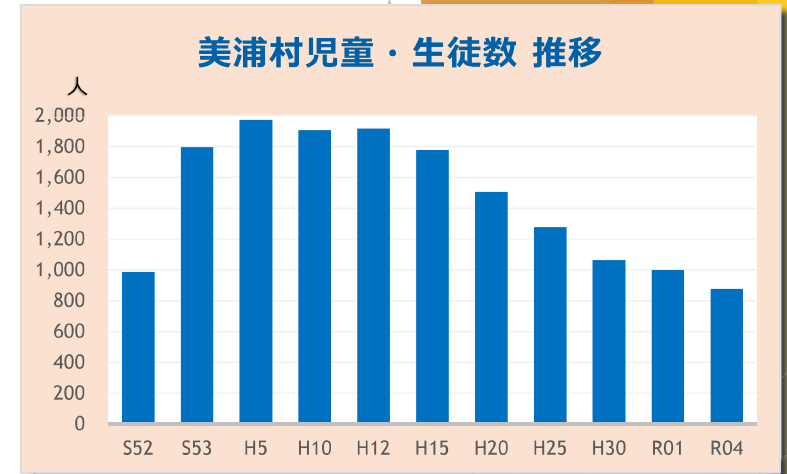


◆昭和52年度～令和4年度の美浦村人口推移 各年4月1日現在 単位：人

S52	S53	H5	H10	H12	H15	H20	H25	H30	R04
8,492	12,760	16,359	18,336	18,552	18,524	18,068	17,101	15,574	14,698

美浦村の児童・生徒数 推移

- 児童・生徒数も人口と同様にJRA美浦トレーニング・センターの開場により大幅な増加。
- 昭和57年にピークを迎え、以降は減少傾向。
- 児童数の推移は、昭和57年の1,339人をピークに平成20年は978人、平成30年693人、令和4年は553人でピーク時の約4割まで減少。



◆美浦村児童・生徒数の推移

各年5月1日現在 単位：人

	S52	S53	S57	H5	H10	H15	H20	H25	H30	R1	R4
児童数	641	1,213	1,339	1,239	1,281	1,144	978	847	693	659	553
生徒数	347	584	633	667	635	634	527	431	369	340	323
合計	988	1,797	1,972	1,906	1,916	1,778	1,505	1,278	1,062	999	876

美浦村の児童数・学級数の将来推計

単位：クラス/人

	木原小学校		安中小学校		大谷小学校		3校合算	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
R5年度	7	201	5	51	12	302	24	554
R6年度	7	187	4	51	12	296	23	534
R7年度	7	169	4	44	12	298	23	511
R8年度	7	164	5	47	12	294	24	505
R9年度	6	146	4	45	12	298	22	489
R10年度	6	139	5	42	12	288	23	469

美浦村の児童数・学級数の将来推計（まとめ）

- 木原小・・・ほとんどの学年が1学級となる見込み
- 安中小・・・令和4年度の2、3年生から複式学級
その他の学年も1学級10人前後の少人数学級となる見込み
- 大谷小・・・全学年2学級を維持できる見込み

児童数は、今後も減少傾向にあり、令和10年度には令和4年度と比較して約16%減少すると予想されています。

なお、令和3年度の村内の出生数は74名。

（木原小学区：18名、安中小学区：7名、大谷小学区：49名）

※R5年度において1学年80名の場合、学級編制基準では1～4年生で3学級、5・6年生では2学級となります。

統合小学校建設検討の必要性

- 美浦村の児童数は、ピーク時の約4割、今後はさらに減少する見込みである。
- 茨城県教育委員会は、適正な学校規模の指針を示している。
- 美浦村教育委員会が実施した「アンケート調査」で適正規模の学級数を希望する意見が多くを占めました。
(平成29年度)

公立小・中学校の適正規模について (指針)

- ・小学校はクラス替えが可能な各学年2学級以上となる12学級以上が望ましい。
- ・中学校はクラス替えが可能で全ての教科の担任が配置できる9学級以上が望ましい。

平成20年4月 茨城県教育委員会

統合小学校の建設に向けた 経緯

期 日	内 容
H30年10月～R1年8月	美浦村立小学校あり方検討委員会開催（計7回）
R1年11月	統合小学校建設室設置
R2年7月～R3年1月	美浦村統合小学校建設委員会（計4回）
R3年6月～R3年11月	美浦村統合小学校建設検討協議会開催（視察含計4回）
R3年10月	基本設計・実施設計委託契約締結
R3年10月～R4年3月	基本設計策定協議（設計業者）
R4年3月末	基本設計策定完了
R4年6月～	実施設計策定協議（設計業者）

美浦村立小学校あり方検討委員会

平成30年8月に今後の村内小学校のあり方について検討委員会を設置し、審議のうえ、答申するよう諮問

平成30年10月
「美浦村立小学校のあり方
検討委員会」設置

- ・学校関係者
- ・保護者代表者
- ・地域代表者
- ・教育委員会関係者
- ・村議会議員代表
- 計31名

区 分	期 日	開 催
検討委員会	H30年10月～ R1年8月	計7回開催
各小学校説明会	H31年4月	各小学校
パブリック コメントの実施	R1年5～6月	意見8件
村民説明会	R1年6月	33名出席
村長へ答申	R1年9月	適正配置に 関する答申

美浦村立小学校あり方検討委員会からの答申

美浦村立小学校あり方検討委員会 適正配置に関する方針

- 1 社会力を育み適正規模を実現するため、村内小学校の統合を実施する。
- 2 統合の方法は、安定的に村立小学校の適正規模を確保するため、木原小学校、安中小学校、大谷小学校の3校を統合し、新小学校を設立する。
- 3 新小学校の校舎は、新しい場所に設立する。
- 4 統合までの間に村内の小学校に複式学級が生じる場合は、村で教職員を雇用し複式学級としないよう配慮する。
- 5 遠距離通学となる場合の通学手段として、スクールバスを運行する。
- 6 新小学校の校舎建設のため、教育委員会内に（仮称）美浦村統合小学校建設室を設立する。
- 7 新小学校の開設のため、設立のスケジュール決定後（仮称）美浦村統合小学校準備委員会を設立する。

令和元年11月設置
「統合小学校建設室」
(美浦村教育委員会内)

令和2年7月設置
「美浦村統合小学校建設委員会」
村議会議員代表、学校関係者、保護者代表者
地域代表者、教育委員会関係者 計22名

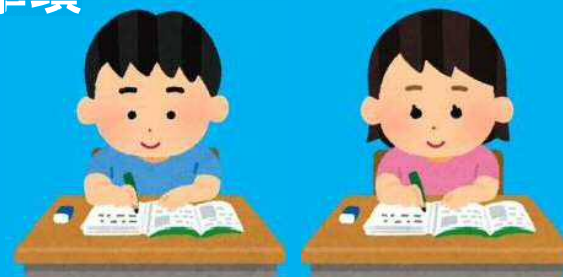
美浦村統合小学校建設委員会審議

統合小学校の教育の方向性及び設置に関する基本方針

- 1 小・中学校の基本的な枠組みは残し、義務教育9年間の一貫教育を行う併設型の小中一貫教育を導入
- 2 - ① 普通学級18学級、特別支援学級4学級を基礎に、特別教室等の諸室を整備
② 美浦中学校の敷地内に統合小学校を設置することを基本方針とする。

統合小学校設置に向けての留意事項

- 1 小中一貫教育が推進できる学校施設
- 2 学習内容・学習形態の多様化に対応できる学校施設
- 3 児童の学習及び生活の場としてふさわしい学校施設
- 4 地域の公共施設の場としての学校施設



施設規模・設置場所等
検討のため設置

令和3年6月設置

「美浦村統合小学校建設検討協議会」

村職員、学校関係者、教育委員会関係者 計14名

統合小学校建設検討協議会における設置場所に関する方針

統合小学校校舎施設の詳細

- ① 開校時の児童・生徒数を勘案し、中学校空き教室等の活用。用途変更にも対応した構造
- ② 教科教室型システムを導入できる施設配置
- ③ 各教室の仕様・配置は逐次、設計業者と意見交換を行い、より良いものに。

統合小学校の設置場所

以下の点などを総合的に考慮し、美浦中学校体育館南側のスペースに設置することが望ましい。

- ・ 中学校敷地スペースを最大限に活かす。
- ・ 小学校・中学校の独立性を担保
- ・ スクールバスによる効率的な登下校

補足事項

- ・ 中学校敷地内で施設が収まらない場合は、不足する部分について用地を確保
- ・ 運動会等においても駐車場を確保できるよう収容台数を検討



統合小学校建設 基本設計・実施設計

基本設計・実施設計は公募型プロポーザル方式により業者を選定

期 日	内 容
令和3年7月	第1回プロポーザル選定委員会
	第2回プロポーザル選定委員会
令和3年9月～	企画提案者によるプレゼンテーション
令和3年10月	第3回プロポーザル選定委員会
	契約締結
令和4年3月	基本設計完成

委
託

(株)須藤隆建築設計事務所

所在地 土浦市港町1-7-23

創 立 昭和46年8月1日

有資格者 一級建築士6名



美浦中学校



真鍋小学校

実績



土浦第二小学校



関城中学校

基本設計コンセプト

- 先輩に学び、美浦のよき伝統を引き継ぐ、あこがれの教育
- 子どもたちが本当に良い環境で過ごせる校舎
 - ・誰にとっても居心地よく、のびのび過ごせる校舎
 - ・採光・通風のよい開放感のある配置
 - ・良好な日照・採光・通風・換気環境の確保
- リカレント教育および生涯学習の場に移行(用途変更)できるような施設計画および施設の長寿命化



今後のスケジュール（予定）

区分	日程	内容
工事関係	R 4年6月～R 5年3月末	実施設計業務
	R 5年4月～7月	工事公告・業者選定・入札・契約
	R 5年9月～R 7年2月末	校舎建設工事
	R 6年9月～R 7年2月末	外構・遊具設置工事
	R 7年2月～3月	備品納入
準備委員会	R 5年5月～R 7年1月末	(仮称) 総務・通学部会
		(仮称) 教育部会
		(仮称) P T A部会
準備	R 7年3月	引っ越し
開始	R 7年4月	開校

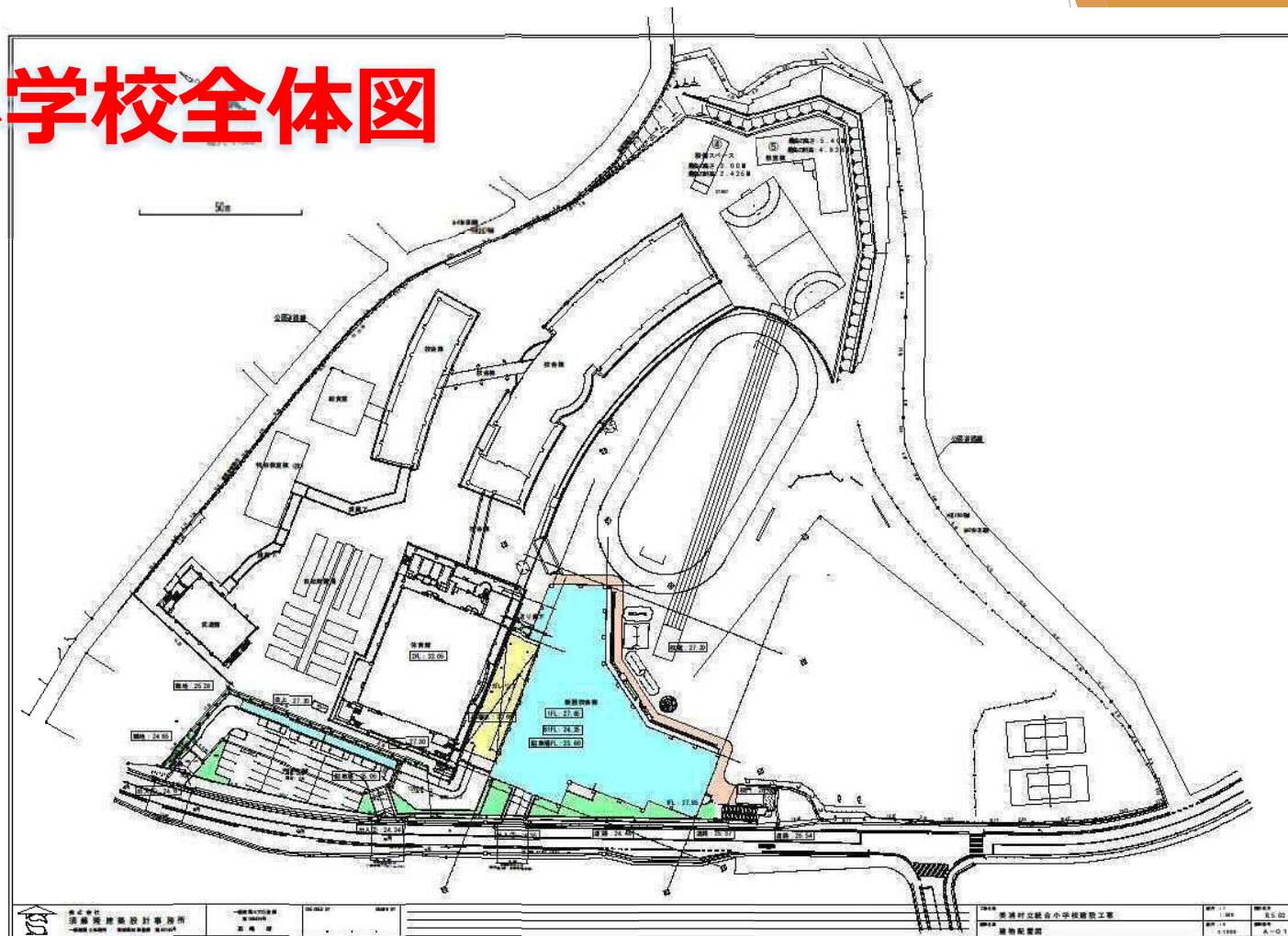
統合小学校全景イメージ



美浦中学校

統合小学校

統合小学校全体図



今後の課題・検討事項 ①

資材高騰等による建設費の増額

単位：千円

区 分		基本設計	実施設計	増 減 額
本 工 事	校舎建設	2,823,214	3,356,345	533,131
	設計監理	35,200	38,698	3,498
	本体工事計	2,858,414	3,395,043	536,629
別 途 工 事	中学校改修	53,133	39,219	△13,914
	ガレリア	111,914	108,847	△3,067
	バスロータリー	116,490	117,240	750
	その他工事	0	9,449	9,449
	別途工事計	281,537	274,755	△6,782
合 計		3,139,951	3,669,798	529,847

今後の課題・検討事項 ②

- ・ スクールバスの運行について
- ・ 駐車場の検証
- ・ 新たな放課後児童クラブの実施
- ・ 小学校、児童館跡地の利活用

子どもたちの
未来のために
みんなで
考えなくちゃね

